

## I はじめに

### 1 計画改定の趣旨

本市では、一人でも多くの市民が生涯にわたりスポーツに親しみ、「こころ豊かなまちづくり」に寄与するため、平成30年3月に『東金市スポーツ推進計画』（以下「本計画」という。）を策定し、「する」、「みる」、「ささえる」の3つの柱（基本目標）により様々な施策を展開してきました。

特に、新しい取り組みとして掲げた「みる」スポーツにおいては、平成30年11月に「ドリーム・ベースボール」、令和元年8月に「大相撲東金場所」を開催し、何れも会場を埋め尽くすほどの観覧者が来場するなど、多くの市民がスポーツを観ることで、そのすばらしさや感動を享受されたものと評価しています。

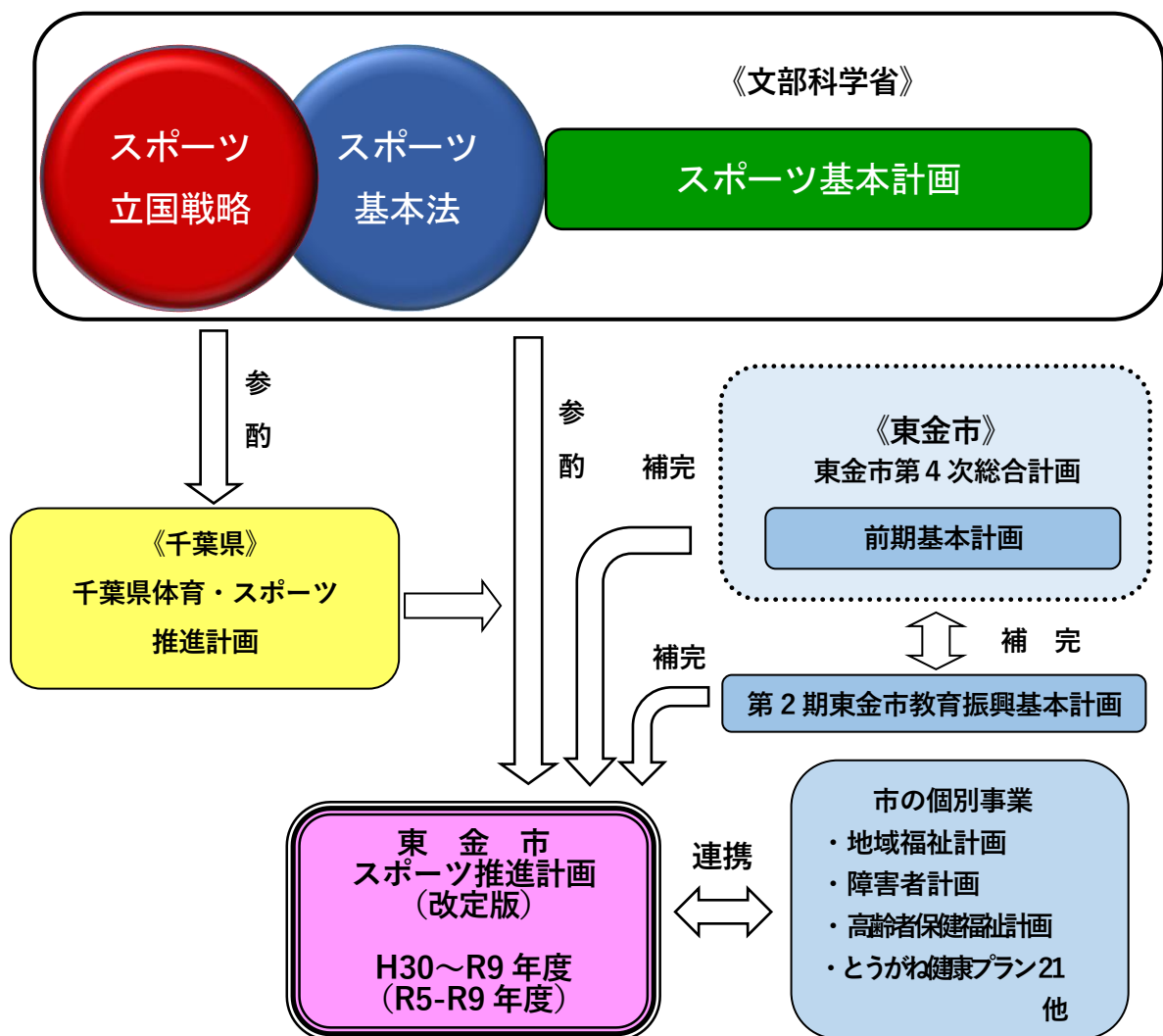
しかしながら、令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、同年2月に初の開催として臨んだ「東金・九十九里波乗りハーフマラソン」が中止となるなど、予定したスポーツイベントは相次いで中止や延期を余儀なくされました。

今後も、感染状況等を注視し徹底した対策を継続することが不可欠であると考えますが、一方で、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催効果を一過性のものにすることなく、この大会を契機としたスポーツの推進や、コロナ後を見据えた積極的な取り組みも必要であり、これまでの施策の進捗状況や社会情勢等を踏まえ、更なるスポーツ振興に向けて必要な見直しを行うものです。

## 2 計画の位置づけ

- ① この計画は、「スポーツ基本法第10条第1項」に基づき、本市がスポーツ・レクリエーション活動を推進するための基本的な方向性を示すものです。
- ② 文部科学省が令和4年3月に策定した「第3期スポーツ基本計画」ならびに千葉県が令和4年3月に策定した「第13次千葉県体育・スポーツ推進計画」の内容等を踏まえたものです。
- ③ 東金市第4次総合計画・前期基本計画を補完し、「第2期東金市教育振興基本計画」など関連する諸計画との整合を図りながら、本市のスポーツ推進のために必要な施策を総合的かつ計画的に推進するために策定したものです。

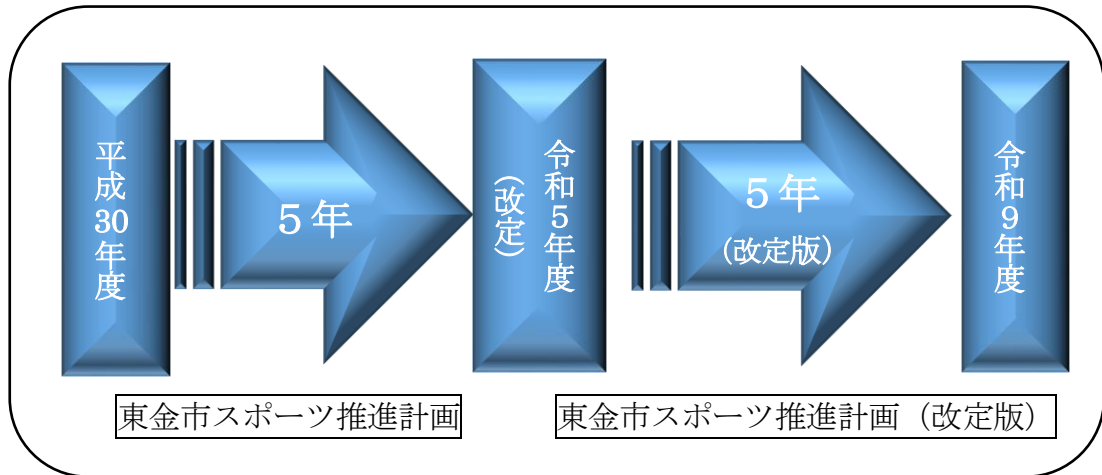
### 《計画の位置づけイメージ図》



### 3 計画の期間

本計画は、令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）までの5年間とします。ただし、事業の点検・評価は「P・D・C・Aサイクル」に基づき、毎年度行い、その結果、社会情勢の変化や事業の進捗状況等を勘案し、必要に応じて、適宜見直しをするものです。

※ PDCA サイクル(PDCA cycle、plan-do-check-act)は、Plan(計画) → Do(実行) → Check(評価) → Act(改善)の4段階を繰り返すことで、仕事を継続的に改善する仕組み



#### 《関係法規との期間の関連図》

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
国	スポーツ立国戦略																	
	スポーツ基本法	H23~						第2期スポーツ基本計画					第3期スポーツ基本計画					
		H24~H28						H29~R3					R4~R8					
千葉県	第11次						第12次					第13次						
	体育・スポーツ推進計画						体育・スポーツ推進計画					体育・スポーツ推進計画						
東金市	(第3次総合計画)						(第4次総合計画)											
	第3期基本計画						第4期基本計画					第4次総合計画 前期基本計画						
	H23~H27						H28~R2					R3~R7						
							教育振興基本計画					第2期教育振興基本計画						
							H29~R3					R4~R8						
						スポーツ推進計画					スポーツ推進計画(改定版)							
						H30~R4					R5~R9							



## 4 計画の改定にあたっての視点

本計画の策定から5年が経過したことから、施策の進捗状況や社会情勢、市民ニーズの変化等を踏まえ、次の視点により必要な見直しを行います。

- (1) これまでの基本理念、基本目標は継承し、重点施策はより現状に見合った形、目指すべき方向を見据え、内容と枠組みを整理します。
- (2) 重点施策の取組みについて「取り組む事業」を明示し、本計画の遂行に当たっては、当該事業の有効性を評価する仕組みを構築します。
- (3) 新たな仕組みの中で、「取り組む事業」（主管課等）の位置付けを明確にし、組織の横断的な取組みを図ります。
- (4) 令和4年度に実施した「スポーツアンケート」の結果をもとに、計画期間前期の評価を検証するとともに、後期の目標値を設定します。
- (5) スポーツアンケートは「クロス集計」を行い、アンケート結果を幅広い視点で分析し、後期の施策に活用します。

## 5 SDGsの取り組み

本市のまちづくりの羅針盤である東金市第4次総合計画において、SDGsの目指す持続可能なまちづくりを進めていく視点で、施策を推進していくこととしていることから、次の目標を意識して本計画を推進します。



※ 2015年9月の国連サミットで採択された2030年までを期限とする国際目標。持続可能な社会実現のため、産業やエネルギー、福祉、教育、平和などそれぞれの分野で達成すべき17の目標が掲げられている。

## 6 感染症等への対応

本計画を推進していくうえで、新型コロナウイルス感染症などに対する対策をしっかりと行うとともに、必要がある場合には、事業の中止、縮小などを含め、事業を見直しながら、本計画を推進します。

## Ⅱ 東金市のスポーツの現状

### 市民スポーツアンケートから見た現状

本計画を策定するにあたり、市民のスポーツに関する意識や実施状況を把握するために、市内に居住している18歳以上の方を対象として令和4年8月に「スポーツアンケート」を実施しました。

無作為に抽出した対象者1,500名に調査票を郵送したほか、市役所や地区コミュニティセンターなどに調査票を設置し、対象者であれば誰もがアンケートに参加できるように実施したところ、592名から回答がありました（P31～65参照）。

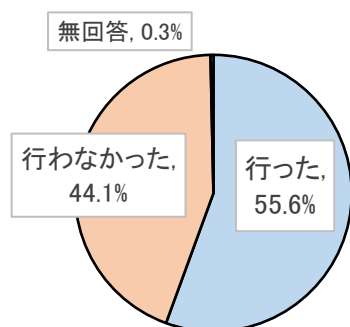
アンケート結果によると、この1年間に運動・スポーツを行った市民は329名（55.6%）で、行わなかった市民261名（44.1%）を上回りました。

実施頻度は、週に1～3回が41.3%、週に4～6回が17.0%、毎日が14.3%となっており、行った市民の72.6%が、週1回以上運動・スポーツを行っていることとなります。

主なアンケート結果を次に示します。

問 この1年間に運動・スポーツを行いましたか。

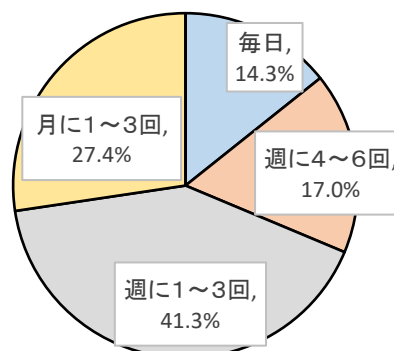
1 行った	329
2 行わなかった	261
3 無回答	2



年代別表	行った	行わなかった	無回答	計
18歳・19歳	6	2	0	8
20歳代	31	22	0	53
30歳代	34	20	0	54
40歳代	46	46	0	92
50歳代	41	39	0	80
60歳代	66	52	0	118
70歳以上	104	80	2	186
無回答	1	0	0	1
計	329	261	2	592
%	55.6%	44.1%	0.3%	100.0%

問 どれくらいの割合でスポーツや運動をしますか。

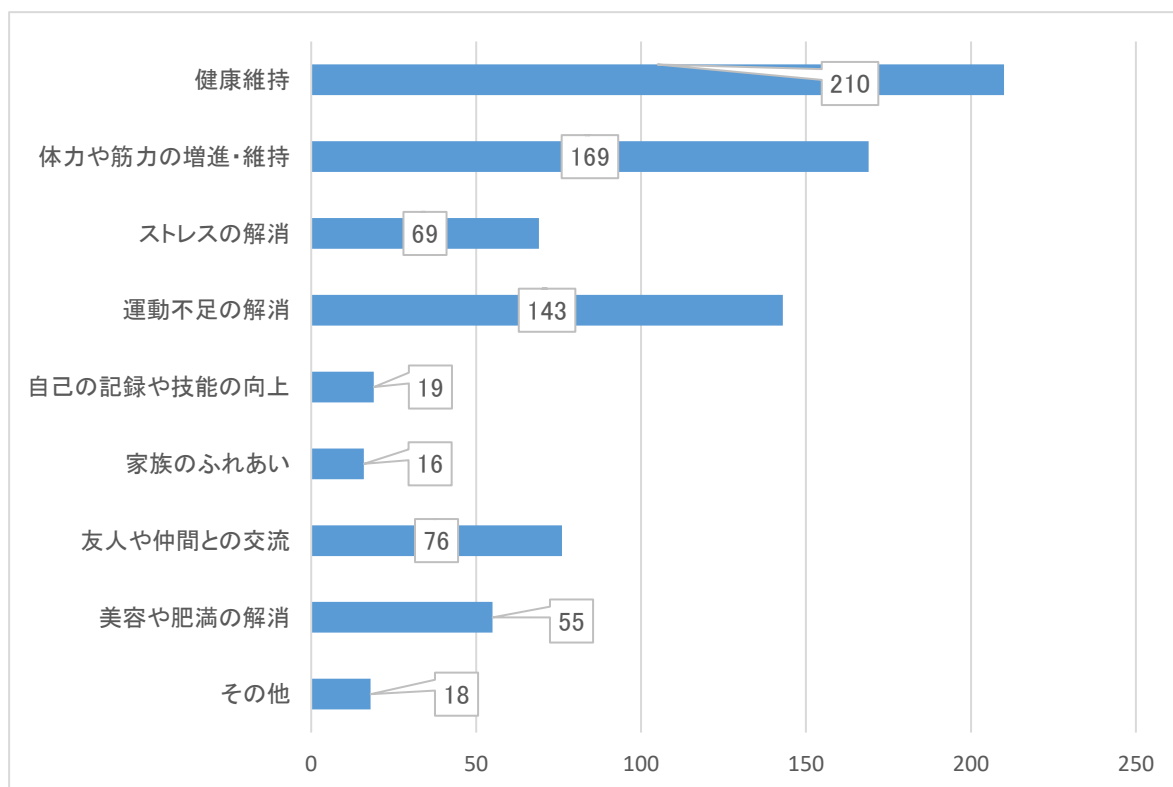
1 毎日	47
2 週に4～6回	56
3 週に1～3回	136
4 月に1～3回	90
5 無回答	0



スポーツや運動をする理由としては、「健康維持のため」、「体力や筋力の増進・維持のため」、「運動不足の解消」が上位3つを占めていますが、「友人や仲間との交流」、「ストレスの解消」、「美容や肥満の解消」を目的に、運動・スポーツを行っている回答も多かったです。

問 運動・スポーツを行う理由は何ですか。(3つまで回答可)

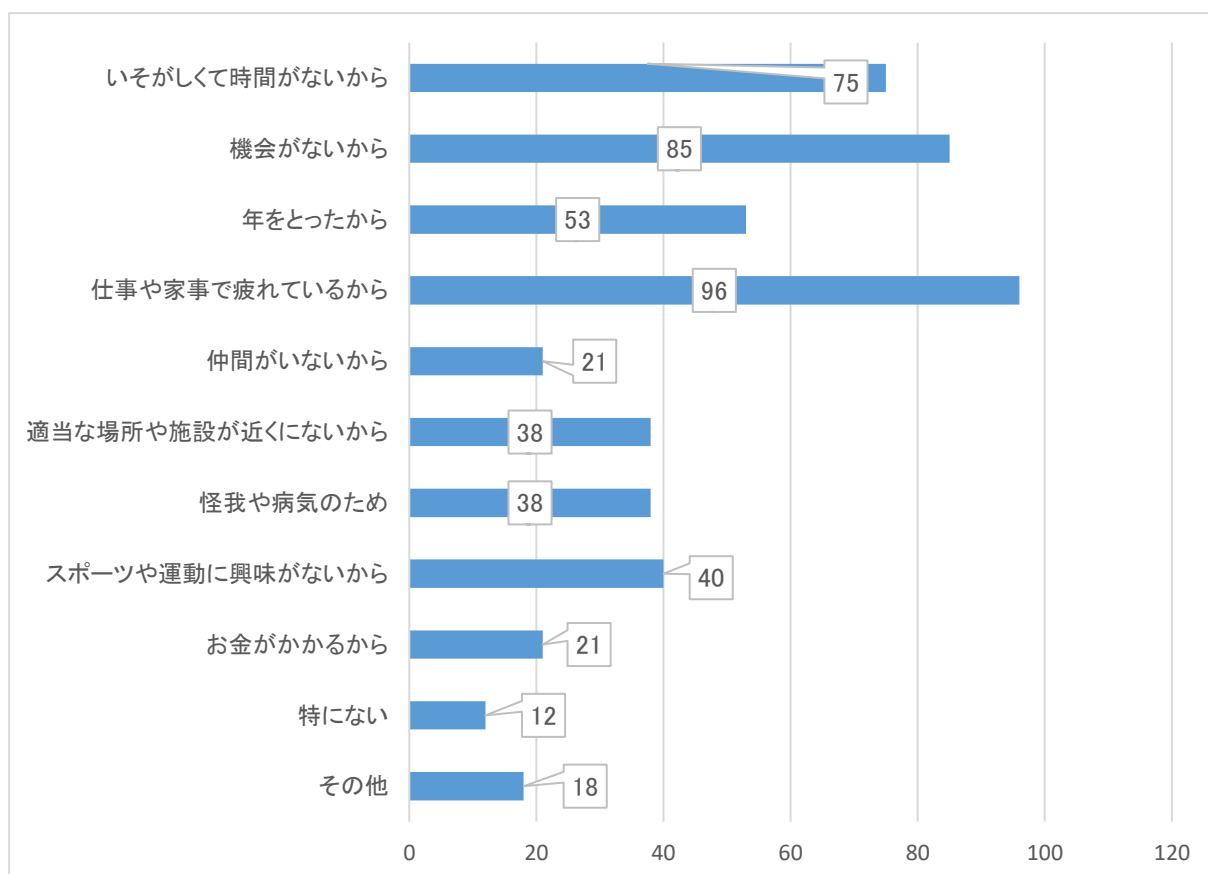
1 健康維持	210
2 体力や筋力の増進・維持	169
3 ストレスの解消	69
4 運動不足の解消	143
5 自己の記録や技能の向上	19
6 家族のふれあい	16
7 友人や仲間との交流	76
8 美容や肥満の解消	55
9 その他	18



一方で、運動・スポーツを行わなかった理由としては、「仕事や家事で疲れている」、「機会がない」、「いそがしくて時間がない」が、上位3番目までとなりました。

問 運動やスポーツを行わなかった理由は何ですか。(3つまで回答可)。

1	いそがしくて時間がないから	75
2	機会がないから	85
3	年をとったから	53
4	仕事や家事で疲れているから	96
5	仲間がいないから	21
6	適当な場所や施設が近くにないから	38
7	怪我や病気のため	38
8	スポーツや運動に興味がないから	40
9	お金がかかるから	21
10	特にない	12
11	その他	18



今後、行ってみたい運動・スポーツ種目については、「ウォーキング・散歩」、「エアロビクス・ヨガ」、「水泳」が多く、個人で気軽にできるものが好まれる傾向にあります。

**問 今後行ってみたい運動・スポーツはありますか。(3つまで回答可)**  
(上位10種目)

順位	種目	人数	順位	種目	人数
1	ウォーキング・散歩	221	6	ウエイトトレーニング	63
2	エアロビクス・ヨガ	122	7	バドミントン	56
3	水泳	116	8	体操	51
4	ハイキング・登山	83	9	釣り	50
5	自転車・サイクリング	77	10	ゴルフ	49

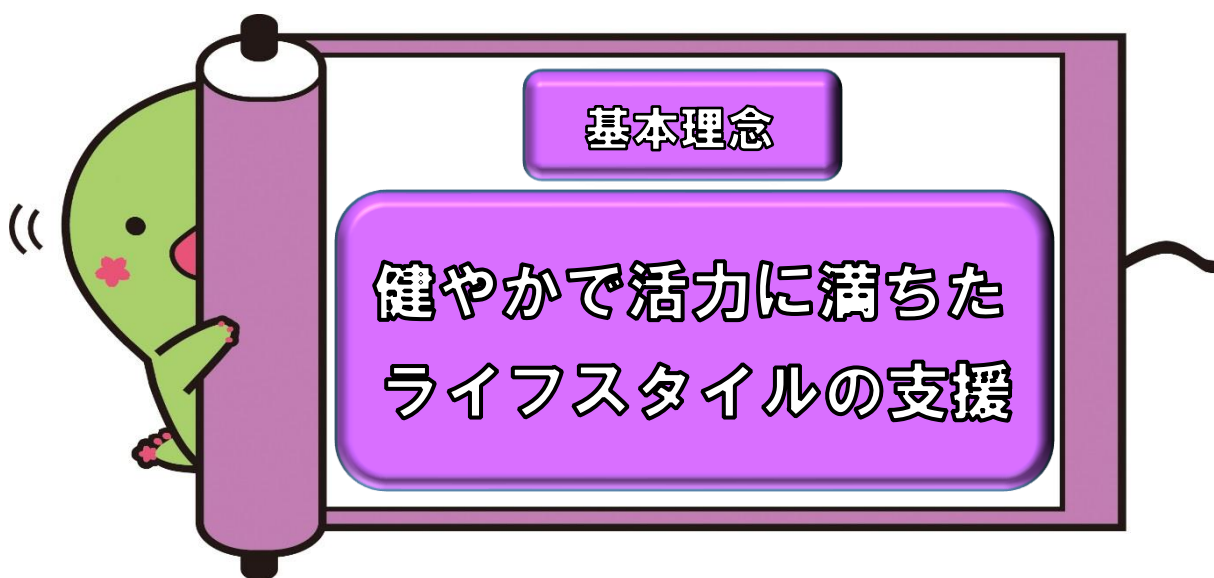


## Ⅲ 目指すべき方向

## 1 基本理念

国のスポーツ基本計画では「スポーツを通じて全ての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」という定義のもと、青少年が健全に育つ社会、人々が協働で結ばれた地域社会、健康で活力に満ちた長寿社会を作ることが提唱されています。

東金市のスポーツ推進計画においては、市民一人ひとりが生涯にわたり、年齢、性別、職業、障がい等の有無を問わず、それぞれのライフステージで、誰もが様々なかたちでスポーツに関わることができる環境づくりを目指し、心身ともに健康で豊かなスポーツライフの実現に向け、次のような基本理念を掲げます。



## 2 計画の目指す基本目標

基本理念を実現するため、次の3つの基本目標を設定します。(改定前を継承)

### する

#### 基本目標1 ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進

スポーツ・レクリエーションとの様々な関わり方の中で、自分自身が運動を「する」ことは、健康・体力を維持・増進する上で大切な行動であるとともに、生きがいづくりや社会参加のきっかけづくりにも寄与するものであります。

子ども、若年層、働き盛り世代、子育て世代、高齢者や障がいのある方など様々な世代や立場の市民に、いつでも、どこでも、いつまでも、それぞれの希望するレベル・内容のスポーツの機会を提供していくとともに、スポーツに取り組みやすい環境づくりを目指します。

### みる

#### 基本目標2 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

東京オリンピック・パラリンピック、サッカーワールドカップ、ワールドベースボールクラシックなど様々なスポーツにおいて日本人アスリートが活躍しています。それらのスポーツを身近に「みる」ことは、幅広い世代の方がスポーツの楽しさや感動を味わい、興味・関心を持つことは、スポーツの裾野を広げることにつながり、市民のスポーツへの取り組みやイベントへの参加意欲の向上につながります。

オリンピック・パラリンピックを契機とし、トップアスリートやチームを招いて市民と交流する機会を設けたり、スポーツ情報を発信し、東金アリーナのポテンシャルを活かした交流人口の増加を目指します。

### ささえる

#### 基本目標3 スポーツ体制の支援・充実の促進

スポーツを継続的かつ効果的に実施するには、それを「ささえる」スポーツ体制(団体・指導者・施設等)の支援や充実が不可欠です。そのため、市民のスポーツの取り組みを支えるスポーツ団体への支援やスポーツリーダーとなる指導者、ボランティア等の確保と育成を図ります。

また、市民が安全・安心に、また快適にスポーツを楽しめるよう、学校施設開放の推進を図るとともに、スポーツ施設の維持・管理に努めます。

### 3 施策の体系

基本理念

基本目標

重点施策

